



原町小だより「はらまち」

令和2年10月1日発行
第513号

川口市立原町小学校
全校児童数399名

「なかよく」「かしこく」「たくましく」

HPアドレス <https://haramachi-kawaguchi.edumap.jp/>

学校・家庭・地域が一つになって

校長 加田 明

暑い中、マスクをしながらの生活が続きましたが、ようやく朝晩が涼しく過ごしやすくなりました。保護者・地域の皆様には、なわとびボランティアや消毒ボランティア等、子供たちの教育活動推進にご協力いただきありがとうございます。また、10月には学校運営協議会と学校応援団の企画による6年生のキャンプファイヤーも予定されています。6年生にとっては修学旅行等最後の学校行事が、新型コロナウイルスの影響で中止となり大変残念な思いをさせてしまっているなかでの企画です。よい思い出となることを願ってやみません。

さて、学校では文部科学省より出された「学校の新しい生活様式」(Ver.4)及び県や市のガイドラインや通知をもとに「原町小学校新型コロナウイルス対応ガイドライン」を9月18日に改訂しました。新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることから持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくこと、感染のリスクを可能な限り低減した上で学校運営を継続していくことを趣旨に改定いたしました。具体的には音楽の時間に歌唱指導やリコーダー・鍵盤ハーモニカ等の演奏、理科室の使用や実験、体育の器械運動等は実施を今まで見合わせていましたが、換気や身体的距離の確保、授業前後の手洗い等の徹底等感染症対策を行ったうえで実施していきます。新型コロナウイルス感染症拡大は予断が許されない状況にありますが、可能な限りの感染症予防に努め子供たちの教育活動を推進してまいります。

先日、学校では歯科健診がありました。健診の後、学校歯科医さんとお話をしました。その中で新型コロナウイルスの感染や重症化予防策として、口腔ケアも大切とのお話がありました。口の中が清潔に保たれていることで、唾液中の免疫物質がウイルスの侵入を防いでくれるとのことでした。今回の健診では口腔ケアが十分にできていなかった児童もいたようです。

また、次のようなコメントもいただきました。「歯磨きがしっかりできているかどうかは、子供本人の自覚もそうですが、保護者、そして教員の意識の高さが大切です。」教員が「明日歯科健診があるので歯をしっかりと磨いてきましょう」と言ったり、保護者が「今日歯科健診だからしっかりと磨いていきなさいよ」と児童に声掛けするだけでなく、子供がきちんと歯が磨けているかどうか？意識をもって見届けていたかどうか？保護者や教員の意識の高さが関係しているということです。

これは、歯磨きだけでなく、基本的な生活習慣を身に付けたり、確かな学力(体力)をつけていくための教育活動全てにおいて言えることだと感じました。

「生活習慣、学習習慣の確立のためには、学校・家庭・地域の連携が必要です。」という言葉はよく使われます。しかし、それぞれの子供の課題を共有し実態に応じた目標を設定し、学校と家庭と地域の役割りを明確にして連携を密に実践することはたやすいことではありません。

しかし、連携の意識を高く持って、保護者と教員そして地域の方が目の前の子供のために力を合わせることができれば、それはとても大きな力となります。勿論、子供を置き去りにして、大人が子供の方向付けをすることはできません。子供の主体性を大切にしながら、子供の「思い」を大切に育て、その「思い」を自らの力で実現させることができる環境を学校・家庭・地域がつくっていくことが必要だと思います。

学校と家庭と地域が一つとなり子供たち一人一人の力を最大限に引き出し、全ての子供が自立して社会で生き、豊かな人生を送ることができるように努めていきたいと思っています。

